

通 信

沖縄生物学会第57回大会の開催のお知らせ

沖縄生物学会の第57回大会を下記の要領で開催いたします。公開シンポジウムのテーマ・アイデアを募集しております。会場は国立大学法人琉球大学です。一般講演、ポスター発表、懇親会を予定しています。学会ホームページ上にも情報を掲載しますので、多数の会員のご参加をお待ち申し上げます。午後には小・中・高校生によるポスター発表も予定しております。ポスター発表をされる場合、高校生以下の参加費は免除されますのでふるってご参加ください。なお、高校生以上の引率者の参加については、一般の方と同様に参加費が必要となりますのでご了承ください。小・中学生によるポスター発表については、発表者ご本人、引率者、保護者の参加費は免除いたします。

第57回大会：国立大学法人琉球大学 理系複合棟

日時： 2020年 5月30日（土曜日） 8:30～ 受付開始, 9:00～ 一般講演開始

大会参加費：1,500円（学生 1,000円）

◆ 講演申込

沖縄生物学会大会での発表を希望される方は、口頭発表かポスター発表の別を明記のうえ、講演要旨を以下の要領でまとめ、2020年4月17日（金）（必着）までに、原則として、電子メール (okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp) にてお送り下さい。メールによる発表申込は原則として、1件につき1申込とし、お一人で複数の申込はご遠慮ください。なお、同一研究室からの口頭発表の申し込みは、原則として1題のみとさせていただきます。残りはポスター発表とします。申込人数の都合に応じて発表形式の変更をお願いする場合があります。申し込みまたは講演要旨受け付け後、大会準備委員会から折り返し受領確認メールを3日以内に送信しますので、必ずご確認いただけますようお願いいたします。

口頭発表の発表者は、原則として会員に限ります。会員の皆様の日頃の研究成果を発表する場として積極的に御参加くださるようお願いいたします。口頭発表はパワーポイント（pptxもしくはpptファイル）によるデジタルプロジェクター（HDMIもしくはVGA接続）使用での発表とします。準備委員会の方でOSがWin 10かMacintosh OSXのノートパソコンを準備いたしますが、ソフト等の不適合が起こることが懸念されますので、可能な限り、御自身のパソコンをご持参下さい。それ以外の設備を必要とする方は、予めお問い合わせ下さい。一般講演の講演時間は、質疑を含め15分（講演12分、質疑3分）です。ポスターの大きさは172.0 cm（縦）×82.0 cm（横）に収まるように設定ください。

◆ 講演要旨の作成要領と原稿送付方法

発表要旨原稿は E メールによる添付書類 (MS-WORD) で受け付けることと致します (okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp)。メールの件名を「**発表申込 発表者氏名**」として下さい。フォントは MS 明朝体 11 ポイントとし、英文の場合は Times New Roman とします。その他、句読点等の書式は **沖縄生物学会誌投稿規定** (<http://www.okibio.jp/publish/02.html>) をご参照ください。演題、演者、本文を含めて **800 文字以内** とします。図表は要旨の中には入れないで下さい。要旨作成例について下記に記載しておりますので、必ずご確認ください。

◆ 要旨作成例

タイトル (太字)、発表者、所属は MS ゴシック 11 pt

潮下帯砂泥底に生息する穴居性甲殻類

○成瀬貫 (琉球大・熱生研・西表)・吉田隆太 (お茶ノ水大・湾岸生物教育セ)

潮下帯の砂泥からなる海底には、無数の穴が散在していることがよくある。これらの穴は様々な生物の活動により形成されている場合がほとんどと考えられる。しかしそれらの穴の

発表者に○

所属は短縮

本文は MS 明朝 11 pt、段落は複数可。句読点は、. を使用。

2020 年 4 月下旬発行予定の沖縄生物学会通信第 106 号にプログラムを掲載するため、**発表の申し込みについては締め切り厳守 (4/17)** をお願いいたします。締め切り後の受付は一切いたしません。また、要旨の体裁の修正・差し替え等についても対応いたしかねますので事前に十分ご確認の上、発表申込をおこなうようにしてください。

◆ 懇親会申込

発表の有無に関わらず、**懇親会に参加される方は2020年4月17日 (金) までに準備委員会宛** にメール (okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp) でお申し込み下さい。懇親会は、琉球大学の中央生協食堂を会場として予定しております。懇親会への参加申し込みは大会当日にも受け付けますが、可能な限り事前申し込みをお願いいたします。懇親会費は、3,000円 (学生は両方1,500円) です。

◆ シンポジウム

シンポジウムのテーマに関しましてご意見・ご提案を受け付けます。2020 年 1 月末まで事務局にご連絡ください。電子メールでのアイデア提供を歓迎します。過去のシンポジウムについては学会ホームページ (<http://www.okibio.jp/active/index1.html>) を参照してください。シンポジウムのテーマは、最終的には事務局と沖縄生物学会の大会実行委員会で決定し、次回の通信でお知らせする予定です。

第 2 回 自然史博物館シンポジウム開催の案内

「国立自然史博物館誘致シンポジウム（仮）」（主催沖縄県）が開催されますのでお知らせいたします。

日 時：令和二年 1 月 20 日（月）13:00～17:00（受付 12:30～）
開催場所：那覇市ぶんかテンプス館 4 階テンプスホール（参加無料）

本シンポジウムの詳細については以下の URL（沖縄県環境部環境保護課）をご参照下さい。
<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/index.html>

問い合わせ先
沖縄県環境部自然保護課
電話：098-866-2243 ファックス：098-866-2855

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内
国立沖縄自然史博物館設立準備委員会・沖縄部会事務局
電話：098-895-8993 E-mail: takemura@sci.u-ryukyu.ac.jp

学会誌 57 号池原貞雄追悼号について

会員皆さまのご協力により、沖縄生物学会誌第 57 号池原貞雄初代会長追悼号を無事発刊することができました。成瀬貫編集幹事をはじめ編集にあたった皆さま、お疲れ様でした。

2019 年 10 月 15 日午後、私（当山昌直）、伊澤雅子さん、儀間小夜子さんの三名で池原洋一（長男）さんのお宅を訪問し、会誌 7 部を届けました。仏壇に会誌を供えたあと、池原貞雄著作目録を執筆していただいた伊佐眞一さんと伊佐牧子（二女）さん夫婦も一緒に 1 時間ほど歓談しました。ご家族のみなさん、本を手にして大変よろこんでいました。お孫さん（成人）にも配りたいとの希望があり、幹事会で検討した結果、追加で 5 部を贈呈しました。後日、池原家より沖縄生物学会へ金一封の寄付がありました。（当山）。

「生物関連画像データベース」のお知らせ（継続）

2016 年 5 月の学会総会で提案、可決いたしました沖生会理科教育連携ワーキンググループ運営による画像データベース（以下 DB）が、稼働しております。

下記 URL よりユーザ名、パスワードを入れれば閲覧が可能になっております。このユーザ名とパスワードは一時的なものですので、完全公開になればまた変更の可能性があります。

<http://www.okibio.jp/photo/index.php>

ユーザ：oki_estu

パスワード：0kibi0_estu

まだまだ投稿画像が少ない状態です。会員の皆様方には一度ご覧になって頂き、どしどしご応募いただければと思います（画像投稿の方法は通信 100～102 号を参照して下さい）。

第11回 沖縄生物学会池原貞雄記念賞候補者の募集

第11回沖縄生物学会池原貞雄記念賞の候補者を募集します。規約にあるとおり、本賞は沖縄の生物の研究・教育・環境保護の各分野で活躍している会員または団体、および将来の成果が期待される若手会員に対して贈られるものです。会員の皆様からの積極的な他薦または自薦をお願いします。参考までに、池原貞雄記念賞表彰規約は次ページに記載しています。

受賞者の決定は選考委員会で行われ、沖縄生物学会大会開催時に授賞式を行います。

池原貞雄記念賞候補者推薦要領

1 推薦方法

別紙様式の表彰候補者推薦書(様式1)、推薦理由書(様式2)、履歴書(様式3、個人推薦の場合のみ)、団体の概要(様式4、団体推薦の場合のみ)各2部を添えて、沖縄生物学会池原貞雄記念賞事務局あて郵送にて提出する。

2 推薦人員

(1)各会員が推薦できる人数は、一部門の1名または1団体とする。

3 候補者の例示

(1)表彰規約の若手とは、おおむね45歳以下をいう。

(2)表彰規約の長年とはおおむね10年以上とする。

(3)表彰規約3の2の(1)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。

ア) 沖縄の生物に関する論文、講演などの実績があるもの。

(4)表彰規約3の2の(2)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。

ア) 沖縄の生物・環境に関する教育・普及啓発活動に実績があるもの。

(5)表彰規約3の2の(3)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。

ア) 沖縄の自然環境の保全に関する活動実績(書籍、事業、イベントなど)があるもの。

4 候補の対象としない者

(1)過去に当記念賞を受賞した者。

5 応募方法

(1)沖縄生物学会通信および学会ウェブサイトにて公募する。様式はウェブサイトからダウンロードできる。

(2)表彰規約3の2の(1)でいう研究部門については、代表的な論文5編以内(コピー可)を添付すること。

(3) 応募締切は2020年1月末日(当日消印有効)とする。

(4) 応募書類の送付先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理学部海洋自然科学科内

沖縄生物学会池原貞雄記念賞事務局 宛

6 留意事項

受賞者には自らの研究または活動の概要を受賞講演として沖縄生物学会大会で紹介させていただきます。

問い合わせ

本件に関する問い合わせは、学会事務局へメールにてお願いします。

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系

Tel: 098-895-8577、 Fax: 098-895-8576 E-mail: okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

※ 池原貞雄記念賞表彰規約については学会HPをご確認ください。

沖縄生物学会第 56 回大会・総会報告

沖縄生物学会第 56 回大会が令和元年 5 月 25 日（土）に名桜大学サクラウムの 3 階の講義室の 2 室（口演会場）及び廊下（ポスター会場）で開催されました。一般口演 19 件、ポスター 25 件（一般：22 件、高校生：3 件）の研究発表がありました。一般参加者は 106 人、学生参加者が 42 人、また、高校生（北山高校とコザ高校）は 10 人余りが参加しました。環境省沖縄奄美自然環境事務所との共催で開催された、公開シンポジウム「おきなわの自然が盗まれる！」には約 170 人の参加がありました。講演者の東岡礼次氏及び佐々木健志氏をパネリストとし、伊澤雅子氏と傳田哲郎氏をコンビナーとした総合討論は盛況でした。世界自然遺産候補地になったこと、また、マスコミで取上げられた密輸事件があったことなどにより、やんばるの自然保護の機運が高まっているように感じられました。大学食堂で開催された懇親会には、43 人の参加があり、会員の間で交流が持たれました。懇親会にはオリオンビールから協賛としてビール 2 ケースを提供して頂きました。

同日 13:15 から 3 階の講義室で総会が開かれました。当山昌直会長の開会の挨拶のあと、議長団として水谷晃会員、岡慎一郎会員が選出され、議事が進行されました。

報告事項として、成瀬貫編集幹事にかわって戸田守代表幹事から、会誌 57 号の進捗に関する報告がなされました。また、57 号は池原貞雄先生の追悼号となるため、該当部分の進捗状況について池原貞雄記念出版委員の当山昌直委員長から報告がありました。次に、池原貞雄記念賞の選考に関して千木良芳選考範委員長より、今年は応募がなく選考がなかった旨、報告がなされました。続けて、竹村明洋自然史博物館設立要請委員会委員長から、国立沖縄自然史博物館（仮称）設立に向けた取り組みの紹介と、当山昌直会長から理科教育連携ワーキンググループの生物データベースの現状について説明がありました。

審議事項として、戸田守代表幹事より、2018 年度事業報告（通信 102、103 号発行、第 56 回大会の開催）のあと 2019 年度事業計画（会誌 57 号、58 号、通信 104 号、105 号の発行）が提案され、承認されました。次いで傳田哲郎会計幹事より 2018 年度決算報告、富永篤会計監査員による監査報告がなされ、次いで会計幹事より 2019 年度予算案の提案がなされ、それぞれ承認されました。その後、戸田守代表幹事より、庶務幹事一名と編集幹事の交代について提案があり、承認されました。議長団解任の後、千木良芳範副会長の閉会の挨拶により総会を終了しました。



ポスター会場の様子（サクラウム）



口頭発表会場の様子（サクラウム）

令和元年度 沖縄生物学会 第1回評議員会報告

沖縄生物学会評議員会が2019年11月13日(水)午後7時から、琉球大学理学部528教室において開催されました。参加者は21名でした。

【審議事項】

1. 第57回大会準備・運営・分担について

大会は2020年5月30日(土)国立大学法人琉球大学理系複合棟1・2階にて開催予定であることが報告されました。詳細は1~2ページをご覧ください。

2. 学会通信の準備状況について(山川庶務幹事)

例年通りの内容に加え、自然史博物館に関するシンポジウム開催予告、生物関連データベース、池原賞候補者募集などを追加することが承認されました。また、追悼号発行後の顛末についての報告も掲載することとなりました。

3. 学会誌57号での訂正について(藤田編集幹事)

追悼号掲載の論文で図版が全て抜け落ちていた旨の報告がありました。今後、経緯説明および引用方法についての案内を加えた図版を次号で掲載する方針で、藤田編集幹事が中心となって対応を進めることが承認されました。

4. 学会誌の英文校閲について(藤田編集幹事)

最近は英文論文(新種記載など)が増えていることが説明され、沖生誌でも英文校閲について、外注予算を確保できないかとの要望が出されました。今後、編集委員会で作成した校閲プロセス原案を幹事会での検討後、評議員会で審議することが承認されました。

5. 島袋敬一先生追悼文について(当山会長)

今年4月に長年学会に関わられてこられ、学会長なども務められていた島袋先生がお亡くなりになっていたことが報告され、学会誌58号での当山昌直現会長、横田昌嗣元会長、研究室ご出身の儀間小夜子さんらの追悼文(巻頭)掲載が承認されました。

6. 慶良間諸島での外来種問題について(戸田代表幹事)

ニホンイノシシが渡嘉敷から慶良間諸島で生息域を拡げており、貴重な動植物への影響が深刻化しているため、国・県・村へ対策を促すための要望書提出が提案されました。今後、詳細を詰めながら要望書提出にむけて議論を進めることが承認されました。

【報告事項】

1. 会誌57号追悼号について(当山会長)

池原家ご家族への追悼号の寄贈についての経緯説明と、池原家から学会への寄付についての報告がありました。

2. HPの更新およびメーリングリストについて(小林庶務幹事)

歴代池原賞受賞者の授賞理由をHPへ掲載する作業についての報告がありました。また、学会メーリングリストで名簿との突き合せができていない方が20名おられることが報告され、傳田会計幹事から、確認依頼のメールを送った結果、7名について名簿での確認がとれ、6名は未達、残りは未返信との報告がありました。

3. 自然史博物館の設立に関して(竹村庶務幹事)

今年度も関連シンポの開催が予定されているとの報告がありました。

4. 学会誌掲載論文のリポジトリ公開について(戸田代表幹事)

琉球大学附属図書館の学術リポジトリとの調整を進めている旨の説明がありました。まずは、過去5年以前の掲載分について、掲載を進めることが報告されました。

5. 理科教育連携ワーキンググループ(WG)の強化に向けて(当山会長)

次回大会前までには取り組みを始めるとの報告がありました。

6. 前大会の反省・申し送りについて(戸田代表幹事)

委員の尽力により効率よく進められたこと、エクスカッションについては、最少開催人数に届かなかったことなど、新垣前大会長からの申し送り報告の説明がありました。また、懇親会参加者数、小中学生の発表が無かったことが挙げられ、事前周知が足りなかった、地理的に集まりにくかったことなど、新垣大会長からの反省点についての説明がありました。

沖縄生物学会 役員一覧表

沖縄生物学会の会長、副会長、監査員および評議員は下記のとおりです(2019年4月時点)。任期は2年間で、2020年5月の総会までです。

会長 当山 昌直(沖縄大学地域研究所)
副会長 千木良 芳範(宜野湾市立博物館)、上間 勉(沖縄生物教育研究会)

監査員 城間恒宏(沖縄県教育委員会)
兼久 和也(琉球大学) 富永 篤(琉球大学)

評議員

大学関係 比嘉 俊(琉球大学) 金城 和三(沖縄国際大学)
渡邊 謙太(沖縄工業高等専門学校)
研究機関 岡 慎一郎(沖縄美ら島財団)
長井 隆(沖縄県環境科学センター) 水野 拓(イーエーシー)
行政機関 菊川 章(沖縄県立博物館・美術館)
德里 政哉(沖縄県自然保護課)
高校関係 花原 努(コザ高校) 照屋 香(沖縄工業高校)
中学校関係 原戸 鉄二郎(安慶田中学校)

池原貞雄記念賞選考委員会委員長 千木良 芳範(宜野湾市立博物館)

自然史博物館設立要請委員会委員長 竹村 明洋(琉球大学)

庶務幹事 戸田 守(代表幹事:琉球大学) 中村 崇(琉球大学)
齊藤 由紀子(琉球大学) 竹村 明洋(琉球大学)
中西 希(琉球大学) 山川(矢敷)彩子(沖縄国際大学)
会計幹事 傳田 哲郎(琉球大学) 玉城 歩(琉球大学)
編集幹事 藤田 喜久(沖縄県立芸術大学) 守田 昌哉(琉球大学)
編集委員 久保田 康裕(琉球大学) 太田 英利(兵庫県立大学)
大瀧 丈二(琉球大学) 今井 秀行(琉球大学)

会員の方々からも沖縄生物学会への思い、ご意見、活動、紹介したい内容などがございましたら、事務局にお知らせいただくか、学会のホームページにお寄せ下さい。電子メールは、okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp です。

沖縄県生物学会賛助会員

本学会にご協力いただいている賛助会員は下記の通りです。

株式会社 猪原商会 沖縄営業所 所長 小林宏行
〒900-0033 那覇市久米 1 丁目 7 番 10 号 (098)868-6373

株式会社 森山商事 代表取締役 森山紹政
〒902-0064 那覇市寄宮 2 丁目 29 番 22 号 (098)835-4056

株式会社 イーエーシー 代表取締役 大石哲也
〒901-2127 浦添市屋富祖 3 丁目 34 番 17 号 (098)942-0085

原稿募集のお知らせ

これまで沖縄生物学会誌では、12月末に「締め切り日」を設け、この日までに投稿された原稿を全て掲載してきました。しかし、一部論文では審査が長引き、その結果、出版が本来の3月末から大幅に遅れ、9月や10月に発行されていました。そこで、第45号より締め切り日を廃止し、期日までに投稿されたものでなく、印刷業者への入稿日までに審査の終わったものを掲載するように変更しました。

1回の審査には、早くても2週間、通常は2ヶ月程度要しています。編集委員会での承認や校正作業、さらには年度末の印刷業者の混み具合、査読者への負担等を考えると、年明けに審査の終了していない論文は掲載が非常に難しくなります。

つきましては、諸事情をご理解の上、何卒お早めのご投稿をお願いします。投稿に際しては、第45号より投稿規定が大幅に変更されていますので、ご注意ください。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、e-mailによる原稿に関するお問い合わせは、編集幹事の藤田喜久 (galatheids@yahoo.co.jp) までお寄せ下さい。

原稿送付先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原 1
琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内
沖縄生物学会編集委員会

沖縄生物学会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原 1 番地
琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内
生物系事務室 TEL：(098) 895-8577
庶務幹事 中村 崇 (098) 895-8897
FAX：(098)895-8576, okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp
振替口座（郵便）：02030-8-30433 沖縄生物学会